

組織活性化研修事例報告

～挑戦の好循環が生まれる組織を目指して～

平成28年2月11日（木・祝）13:30～ 仙台サンプラザホテル2階「青葉」

- 震災から間もなく5年。被災地で芽生えつつある「新しい挑戦」を地域に定着・展開させるため、自治体組織に「挑戦が生まれやすい風土」を創りたい！
- 東北で復興に取り組む様々な自治体の職員が地方創生の挑戦事例と言われる「島根県隠岐郡海士町」を舞台に「挑戦の好循環を生む風土とは？」そして「自分達の地域を盛り上げる最初の一步！」を考えました。

3人の参加者が「僕たちのマイプロジェクト」を発表します！

- ・今回の研修では「私」・「仕事」・「社会」の関係を紐解き、自分の問題意識から始まる挑戦を「マイプロジェクト」として目に見えるストーリーに落とし込みました。
- ・その過程で、これまで接点の無かった被災地の自治体職員同士が問題意識や地域課題を共有し、お互いの歩みを支え合います。
- ・事例報告として、岩手県久慈市、宮城県女川町、福島県葛尾村からの参加者が、それぞれのマイプロジェクト、次の一步を発表します。

モデレーター

阿部 裕志 氏（株式会社巡の環 代表取締役）

- 1978年愛媛県生まれ愛知県育ち。京都大学大学院（工学研究科）修了後、トヨタ自動車入社。生産技術エンジニアとして新車種の立ち上げ業務に携わる。しかし現代社会の在り方に疑問を抱き、新しい生き方の確立を目指して入社4年目で退社。2008年1月、「持続可能な未来へ挑戦する人づくり」を目的に島根県海士町で株式会社巡の環を仲間と共に設立。

